

# 「ヘルペス手記」匿名希望 37 歳

(メニエール・耳鳴り・ふらつきは同じ原因であり、完治する)

2012 年 11 月 16 日

- 2010 年 4 月 右耳の耳鳴りが始まる。京都N病院に通院。  
イソバイト、メチコバル等をもたらすが効果が見られず  
そこから約2年通院するが症状変わらずのまま経過する。
- 2012 年 5 月 その日の朝もまた耳鳴りが高いと思っていたが、  
いつもの事だと放置し出勤する。  
夕方、突然めまいに襲われる。  
辛くて仕事の出来る状態ではなくなり会社近くの京都T病院を受診。  
そこで、メニエール病と診断を受ける。  
そして、イソバイト、セファドール、メリスロンを処方される。
- 2012 年 6 月 京都T病院より紹介を受けK大病院の耳鼻科、めまい外来、  
耳鳴り外来、脳神経科を受診。  
MRI, 平衡感覚検査等精密検査をうけるが異常なし。  
K大病院からもセファドール、メリスロン、セルシンを処方される。  
その後3ヶ月通院しながら薬で治療するが効果みられず。  
最終的に精神科を勧められる。  
会社は、何度か通勤したがめまいで仕事にならず休職をし治療を始める。
- 2012 年 9 月 5月から治療し続けるも効果がない事で精神的にも  
肉体的にも疲れてきていた。その時、インターネットにて  
ヘルペスウィルスがめまいを引き起こすという事実を知り検索した結果、  
松本医院がヒット。何と妻がアトピーで通院していた医院だった。  
さっそく受診する。  
初めて松本先生にお会いし診察してもらおうと  
「ヘルペスウィルスが原因や。絶対治してやる。安心しろ。」と言われ  
ベルクスロンとせんじ薬をもらい治療を始める。  
いままで、「治してやる。安心しろ」と言う医者はいなかったのもあり  
もう一度、松本先生を信じて治療してみようと決意する。

- 2012年10月 1週間に一度現状報告と診察をして頂いて1ヶ月を経過した時、バルトレックス(ベルクスロンは、バルトレックスのジェネリック薬品)に変更する。バルトレックスを飲みだして2週間ほどした頃、めまいが少し緩和されてきていることを実感し始める。うれしくて少し涙がこみ上げる。そこからゆっくりゆっくりではあるが症状が緩和されていく。
- 2012年11月 9月初旬松本医院に通院し始めた時と比較すればかなり回復を実感する。まだ、完全ではないが会社に復帰を決意する。

9月初旬、治療が進まない絶望感や会社に復帰出来ない絶望感で、どうしようもなくなっていた時、松本先生に出会っていなければ今の回復は、なかったと思います。本当にありがとうございます。感謝しております。まだ、ヘルペスウィルスの数値が高く免疫も低い状態ですので再発した際は、また、松本先生宜しく願います。

追伸：

今回の治療でヘルペスウィルスが耳の内耳神経を破壊しているという事実を耳鼻科は、知識として認識しているにも関わらず誰1人として認めようとして頂けなかったのは非常に残念な事実です。患者は、何が正しいのかを判断するのは、非常に難しいと思います。

将来、この治療が保険適用で受けられる事を祈っております。